

ふくしま産業応援 ファンド事業

【助成金公募のお知らせ】

研究開発をお考えの福島県内中小企業者の皆様へ
新商品・新技術等の調査・分析、開発、販路開拓に係る経費の2分の1を助成します。

県内中小企業者の皆様の新製品・新技術及びその構想について、市場調査、事業可能性調査及び開発並びに販路開拓について支援することにより、新産業の創造、新規市場の開拓、未開拓市場への参入を促進し、本県産業の活性化、本県産業の自立的発展を図るために実施するものです。

公募期間 令和4年8月5日(金)▶9月30日(金) 必着

助成対象期間 交付決定日(11月上旬予定)～令和5年7月31日まで

次回公募時期(予定) 令和5年2月上旬～3月末

助成対象期間 令和5年5月上旬～令和6年1月末 (販路開拓事業は令和6年3月20日まで)

助成対象者	対象経費	助成率	助成上限額
事業可能性等 調査事業	●旅費 ●調査・分析費 ●その他の事業費		100万円
技術開発事業	●原材料費 ●機械装置・工具器具費 (量産が主な目的の設備は対象外) ●外注加工費 (主たる研究課題は外注不可) ●技術指導費 ●その他の事業費	助成対象経費の 1/2以内	500万円
販路開拓事業 (※新商品、新製品に関するもの)	●展示会出展関連費用 ●広告宣伝費 ●印刷製本費 ●外部委託費 ●職員等旅費 ●その他の事業費		100万円

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、本公募にかかる説明会は実施いたしません。

※随時相談を受け付けていますので、公募期間の内外を問わずご相談ください。

相談予約フォームはこちら ▶ <https://timerex.net/s/f-tech/3e1ac402>



【お申込み・お問い合わせ先】

公益財団法人福島県産業振興センター

技術支援部 技術総務課

〒963-0215 郡山市待池台 1-12 福島県ハイテクプラザ内

TEL : 024-959-1929

E-Mail : f-tech@f-open.or.jp

LINE 公式アカウント : @157njtwe

テクノ・コム

URL : <https://fukushima-techno.com/r/>



LINE QR

応募から事業終了までのスケジュール例

～9月下旬	10月上旬～10月末		11月	～令和5年7月末まで	令和5年8月以降
応募 (助成金交付申請書の提出)	事務局ヒアリングの実施	審査委員会による審査	採択者決定	採択通知、助成事業開始	助成事業の実施 (事業の実績報告後) 助成金額確定、助成金支払い (事業終了後) 事業化等状況の定期報告

対象事業の例（過去採択事業）

フッ素樹脂（PTFE）とマグネシウム、チタンの接合化技術の調査

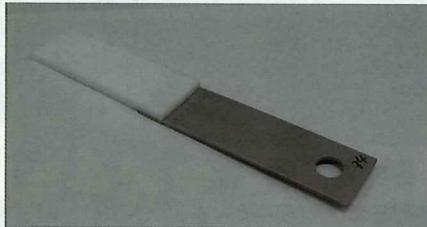
利用時期

事業可能性
調査

試作・開発

販路開拓

ロボットの機能が進化する一方で、積載する電子部品が増加しており、筐体部・構造部の軽量化が必要となっている。そこで、軽量化方法の一つとしてプラスチックと金属の接合方法について事業可能性に関する調査を行った（接合方法については特許を取得）。その後、接合後の振動試験、温度環境試験を実施し実環境に耐えうる条件を見出した。加工サンプルをもとにPTFEと金属接合によるメリットの周知や提案営業等を実施する。



フッ素樹脂（PTFE）とマグネシウム（Mg）の接合加工サンプル▶

産業副産物資源有効利用した工事用充填材の開発

利用時期

事業可能性
調査

試作・開発

販路開拓

火力発電所で発生するフライアッシュとクリンカーアッシュを混練し、流動性に優れた工事用充填剤の開発を行った。

特徴として、硬化前は高い流動性を保持しているため、狭い空間や複雑な形状を有する箇所でも容易に埋め戻し充填が可能であり、また、ポンプ圧送・打設が可能で締固めを必要とせず、施工の大幅な省力化が図れる。

副産物の再利用に着目した開発であり、循環型社会への貢献という側面を有している。



会津身しらず柿を使った新商品の販路開拓

利用時期

事業可能性
調査

試作・開発

販路開拓

福島県の伝統的な地域資源である「会津身不知柿（みしらずがき）」を活用した新商品として、香料や風味付けを使わず、会津身しらず柿本来の美味しさを味わうができるひと口サイズの和菓子の商品開発を行った。

コロナ禍で試食の実施ができない中、クオリティの高い写真やPOPフレイマーを作成したこと、新規顧客のスムーズな獲得につながった。また、新商品のプロモーション動画を作成し、SNSに掲載して情報発信するなど販売促進に活用している。

